

2024 HIMESHIN DISCLOSURE

姫路信用金庫の現況
[情報編 1]

～すべてを郷土繁栄とともに～

「地域社会に貢献し共生する」という使命を胸に、金融の円滑化、金融及び知的サービスの提供を通じて、われわれの生活の場でもある地域社会の発展に貢献いたします。

時代が移り、環境がどのように変わろうとも、わたしたち〈ひめしん〉の思いはいつも同じです。



お客さま/会員

会員数	48,451名
出資金残高	3,147百万円
出資配当率	4%

出資金・預金・積金

姫路信用金庫

常勤役職員数	656名
店舗数	46店舗
店舗外現金自動設備	12ヵ所

貸出金・支援サービス

2024年3月31日現在

ごあいさつ

平素より姫路信用金庫をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。ここに第114期の事業の概要につきましてご報告いたします。

海外経済に目を向けると、米国や主要欧州諸国を中心に世界全体で物価上昇率が高止まりするなか、各国の中央銀行はインフレを抑制するために金利を引き上げるなどの金融引き締め策を講じました。その結果として、経済成長が抑制される場面も見られたことに加え、ロシア・ウクライナ紛争の長期化が一部地域の不安定化を引き起こしました。また国内経済については、インバウンド需要による観光業やサービス業の復調が経済成長を支えましたが、世界的な経済不安やサプライチェーンの混乱などが影響し、成長率は控えめとなっています。更に、他の先進国と比較すると物価上昇率は低い水準にとどまっているものの、徐々に消費者の家計を圧迫するなか、日本銀行による金融緩和政策の転換に注目が集まり、金融情勢は不安定な状況が続きました。

このような情勢のもと、当金庫は「すべてを郷土繁栄とともに」という創業理念のもと、地域社会の成長に貢献することを目指しており、「資金繰り支援」「経営改善支援」「個人と地域社会の課題解決支援」を最重要課題として取組みを進めてきました。「資金繰り支援」では新たなステージでの支援を行うため、企業の実態把握の深掘りに焦点を当てる事業性評価を活用した融資に取り組んでいます。「経営改善支援」では、経営改善計画の策定支援や計画達成に必要な支援策の検討などに注力するとともに、課題解決支援の高度化を進めています。「個人と地域社会の課題解決支援」では、個人のお客さまに対し、ライフプランに沿った資産形成の提案を行うとともに、事業者同士のマッチング支援や商談会の開催など地域の面的支援に取り組んでいます。

以上の取組みを進めてきた結果、本年度の業務純益は14億6千6百万円、経常利益は10億3千4百万円、当期純利益は11億4千4百万円となりました。

また経営の健全性を示す自己資本比率は10.89%となり、国内基準の4%を上回る結果となっています。

2024年度は、「ひめしん経営計画(2024～2026)」の初年度となり、「“日本一”信用金庫らしい信用金庫」を目指していくことを経営ビジョンに据えております。このビジョンに向け、職員が働きやすく、また金融仲介機能を通じた課題解決支援によるお客さまの付加価値向上のために、営業体制等を積極的に変革していきます。更に、会員、お客さま、そして地域も職員も大切にすることを通じて、持続的に地域へ貢献していける組織を目指していきますので、当金庫への変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



会長 三宅知行



理事長 三宅智章

業績について

業績のご報告

■預金

お客さまに<ひめしん>をメインバンクとしてご利用いただくため、顧客基盤の拡大を図りました。なお、物価高騰の影響などに起因して生活資金を確保する動きは強く、個人の定期性預金が減少する一方、流動性預金は増加しました。結果、預金残高は前期比3億円減少の9,408億円となりました。

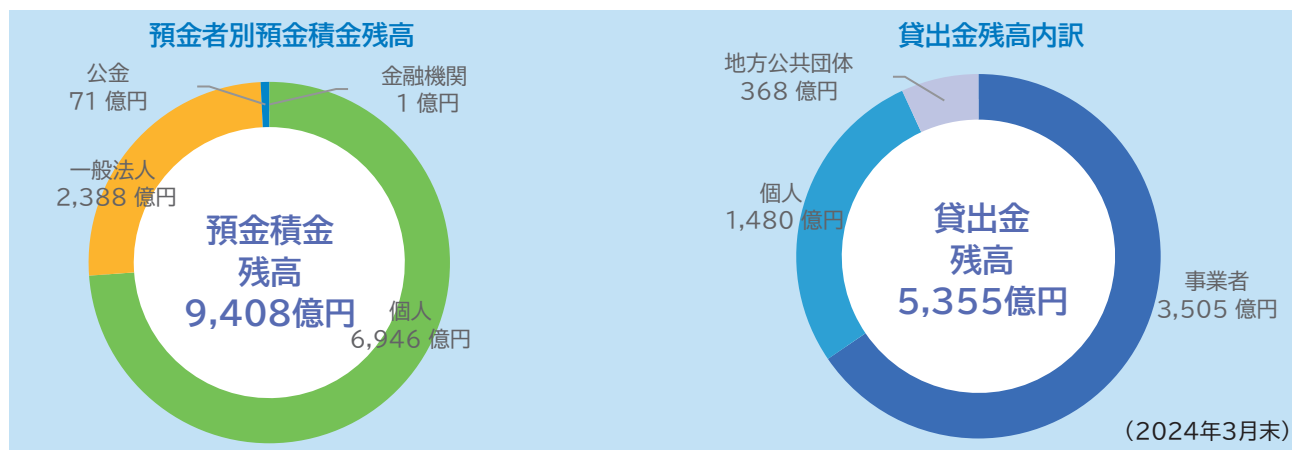
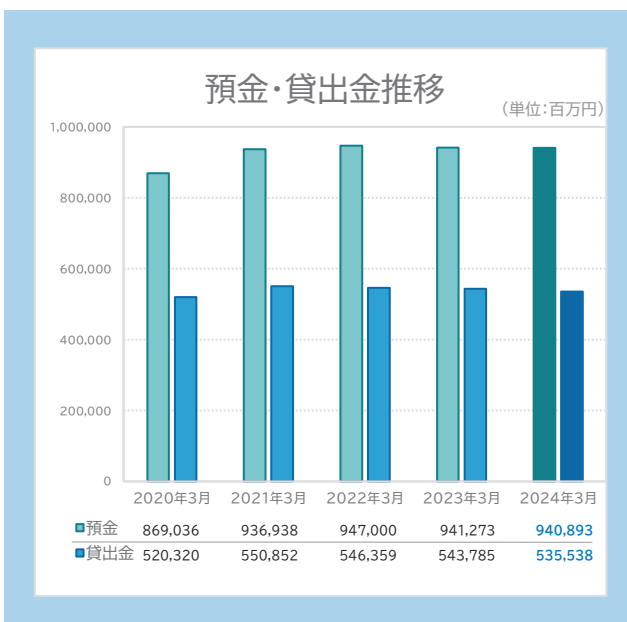
■貸出金

事業性取引先それぞれのニーズに応じた資金繰り支援や経営改善支援などの課題解決支援に注力しました。なお、新型コロナウイルスの影響下で企業の資金繰りを支えたゼロゼロ融資の返済本格化など、借入金の繰上げ返済を行う動きが強まったため、貸出金残高は前期比82億円減少の5,355億円となりました。

■損益

インバウンド需要による観光業の活況などにより、国内経済が回復基調となるなか、<ひめしん>では「資金繰り支援」・「経営改善支援」・「個人と地域の課題解決支援」に取り組むとともに、業務の変革を進めた結果、業務純益は14億6千6百万円となりました。

また、経常利益は10億3千4百万円を計上し、当期純利益は11億4千4百万円となりました。



損益状況について

(単位:百万円)

	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
コア業務純益	1,904	1,622	1,667	2,081	1,967
業務純益	1,679	1,619	1,307	1,375	1,466
経常利益	702	883	1,069	1,256	1,034
当期純利益	426	646	954	878	1,144

■自己資本比率について

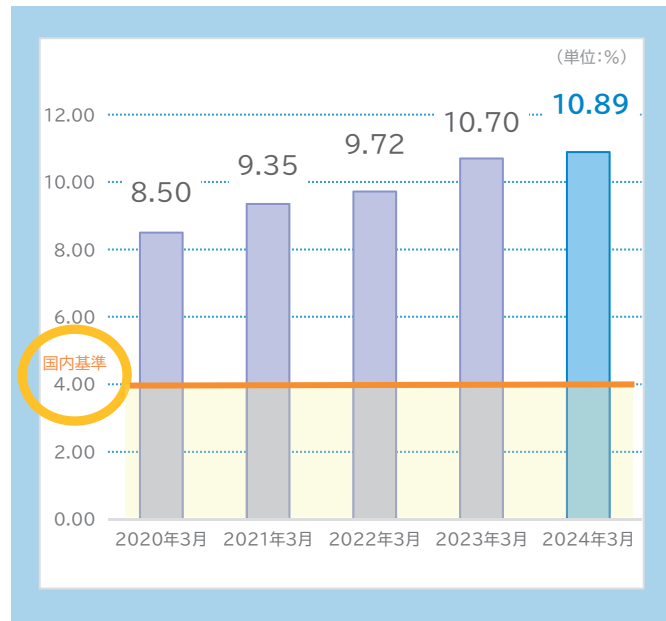
当金庫の2024年3月末の自己資本比率は10.89%となっており、国内のみで営業する金融機関に必要とされる基準の4.0%を大きく上回っております。

これからも、地域のみなさまから益々の信頼を得ることができるように自己資本の充実を図り、健全経営に努めてまいります。

自己資本の調達手段について

当金庫の自己資本は、地域のお客さまからお預かりしている出資金および当金庫が積み立てている利益剰余金等によって構成されております。

なお、当金庫の自己資本調達手段の概要は次のとおりです。



発行主体	姫路信用金庫
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目の額に算入された額	3,147百万円
償還期限	—

自己資本の充実度に関する評価方法について

当金庫は、これまで、内部留保による資本の積み上げ等を行うことにより自己資本を充実させ、経営の健全性・安全性を十分保っております。

また、当金庫は、貸出金などが一分野に集中することなく、リスク分散が図られていると評価しております。

なお、将来の自己資本の充実策については、年度ごとに掲げる収益計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積み上げを第一義的な施策として考えております。

自己資本比率
10.89%

$$\frac{\text{自己資本額 (36,992百万円)}}{\text{リスク・アセット等 (339,633百万円)}} \times 100 = 10.89\%$$

※詳細な内容につきましては資料編P15に記載しております。

ワンポイント用語解説

■コア業務純益

…業務純益から一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益の影響を除いたもので、金融機関の本来業務から得られる利益を示しています。

■業務純益

…業務に必要な経費等を控除した利益で、金融機関の基本的な業務に係わる利益を示しています。

■経常利益

…業務利益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示すものです。

■当期純利益

…経常利益に、特別利益と特別損失を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

■自己資本比率

…リスク・アセット等(資産をリスクの大きさに応じて換算した金額など)に対する自己資本(出資金や内部留保など)の割合で、金融機関の経営の健全性を示す指標の一つです。信用金庫など国内だけで営業している金融機関に適用される「国内基準」については4%以上が必要とされ、この基準に満たない金融機関は水準に応じて金融庁より業務改善や業務停止の命令を受けます。

2023年度の取組み

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

当金庫では、中小企業の経営の改善及び地域の活性化に向けて、次のように取組みを進めております。

■ 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では、「地域金融円滑化のための基本方針」や「地域密着型金融推進計画」において、中小企業の経営支援に関する取組みにかかる方針を公表しております。

「地域金融円滑化のための基本方針」(一部抜粋)

【取組み方針】

地域の中小企業および個人のお客さまへの安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客さまからの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客さまの抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

「地域密着型金融推進計画」について

当金庫は創業以来、地域に貢献することを第一に考え、地域密着型金融に積極的に取り組んでいます。計画では、次の項目を三本柱として、当金庫役職員が一丸となって継続的に推進していきます。

1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

地域金融機関として、資金供給者としての役割にとどまらず、長期的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家・外部機関等とのネットワークを活用してコンサルティング機能を発揮することにより、顧客企業の事業拡大や経営改善等を支援します。

2 地域の面的再生への積極的な参画

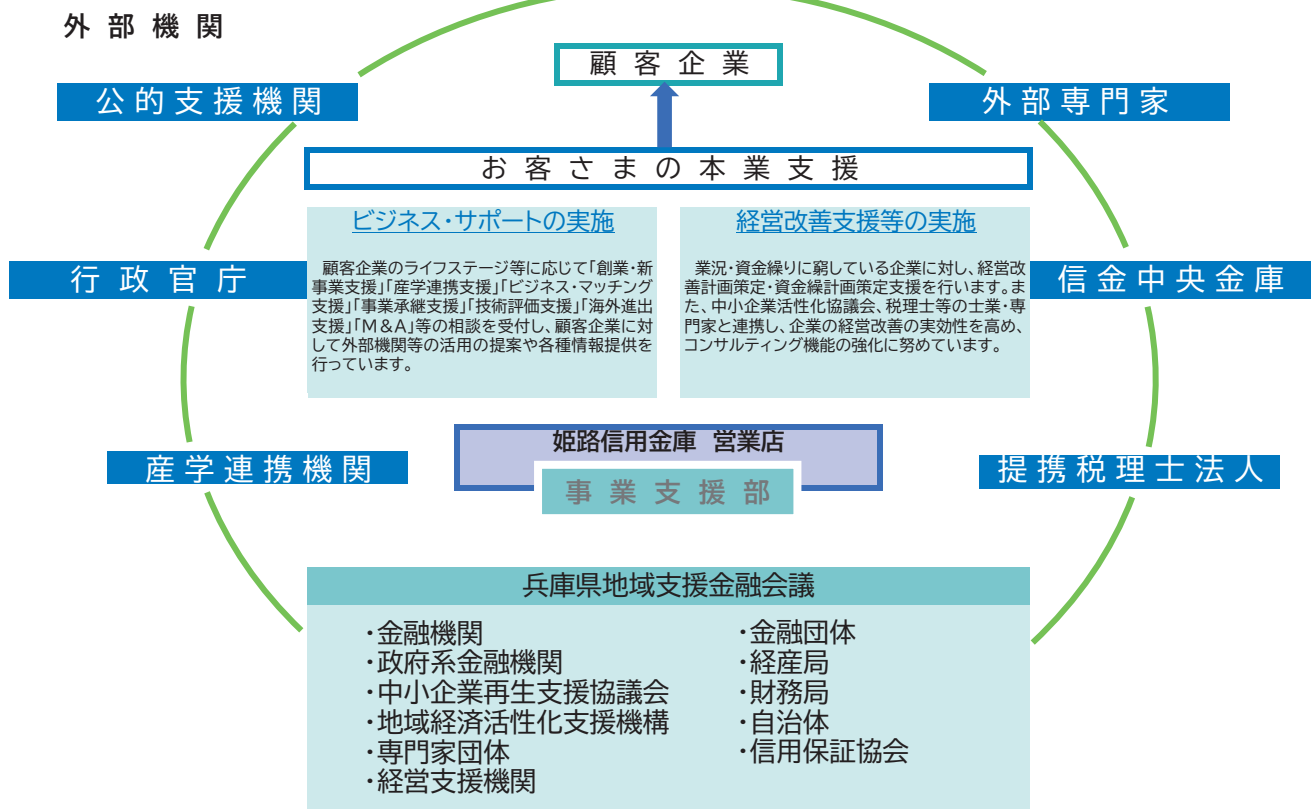
地方公共団体や中小企業関係団体等の関係機関と連携して、地域活性化に関するプロジェクトに積極的に参画します。

3 地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融や地域貢献活動の取組みに関して、その内容や成果をホームページやSNS・ディスクロージャー誌等を通じて地域や利用者に対して情報発信を行っています。各種媒体を通じて情報発信を続けることで、地域や利用者の方々により一層の理解を深めていただけるよう努めています。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当金庫では、中小企業の経営支援に関する取組み方針に基づき、次のような態勢を整備し、取組みを進めております。



■ 中小企業の経営支援に関する取り組み状況

当金庫は地域金融機関として、資金供給者としての役割にとどまらず、日常的・継続的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家・外部機関等とのネットワークを活用して、顧客企業のライフステージ等に応じた事業拡大や経営改善等を支援します。



創業・新事業開拓の支援

兵庫県信用保証協会、日本政策金融公庫、商工会議所等と連携した創業・新事業支援創業計画の策定や創業期における資金供給の実施

顧客企業のライフステージ等に応じて「創業・新事業支援」、「海外進出企業支援」、「ベンチャー企業支援」等各種相談を受付し、外部機関等の活用や各種情報提供を行っています。

2023年度の創業、第二創業の支援件数は350件となりました。支援の内容としては、創業計画の策定支援が9先、創業期における融資が352先、創業支援機関等への紹介が8先となりました。

今後も姫路創業ステーション等と連携し、顧客企業への支援機能を強化し、更なる充実を図ってまいります。

兵庫県立大学等外部機関との連携による技術評価、製品化・商品化支援

2005年2月に兵庫県立大学と産学連携協定を締結し、同大学と共同で研究開発に取り組む企業を対象に助成金を支給する「ひめしん研究開発支援助成金」制度を設けています。

2023年度は3先、1,200千円を採択し、これまでの累計では73先、27,900千円を助成しています。

過去の助成金贈呈式では報道関係者をお招きし、地域に向けた当金庫の取組みの発信、採択企業のPRに繋げています。

また、企業の研究開発の資金調達支援のほか、同大学や公的機関と連携し、企業の技術相談の橋渡しも行っています。

成長段階における支援

「川上・川下ビジネスネットワーク事業」等のビジネスマッチング事業や、産学官連携による技術開発などの販路開拓支援

中小企業の有するビジネス・シーズ(優れた技術やノウハウ)と、大企業・中堅企業のニーズとのマッチング機会の提供を行っています。

当金庫ではお客さまの本業を支援するため、外部機関とのネットワーク構築や、課題解決に向けた様々な取組みを行っています。2023年度は、「川上・川下ビジネスネットワーク事業」や「姫路信用金庫Big Advance」等を活用したビジネスマッチングなど382先に対して販路開拓支援を行いました。

信金中央金庫、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点、兵庫県立大学等の外部専門家を活用した本業支援

2023年度は、当金庫メインのお取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合は10.4%で、本業支援先349先のうち51先で経営改善が見られました。

また、本業支援に関連して信金中央金庫やひょうご産業活性化センター等の外部機関を活用した先数は82先、兵庫県よろず支援拠点や各種補助金等の中小企業支援策を活用して支援を行った先数は113先となりました。

「中小企業経営力強化支援法」に基づく経営革新等支援機関として、補助金申請支援をはじめとした支援

当金庫は2012年11月5日に同支援機関に認定され、金庫に在籍する中小企業診断士を中心としたチームで認定支援機関として兵庫県中小企業活性化協議会事業に取り組み、企業の経営改善を支援しています。

また、認定支援機関として国の補助金等の施策について顧客企業への周知と事業計画書づくりのサポートを行い、多くのものづくり補助金採択企業を支援しました。

2023年度の取組み

経営改善・事業再生・業種転換等の支援

経営改善計画策定支援やモニタリングによる経営改善支援

貸付条件等の見直しにより、経営改善計画策定が必要な支援企業については、営業店・本部が一体となって改善計画策定等の支援、また策定した計画の進捗等のモニタリングを行っています。その情報は本部と共有し、必要に応じて本部担当者が支援企業へのフォローを実施しています。

当金庫が貸付条件の見直しを行っている先は562先で、経営改善計画の進捗については「好調」が57先(10.1%)、「順調」が246先(43.8%)となっています。

2023年度は114先の支援先を対象に経営改善支援に取り組み、支援先の業績向上、経営の安定、事業継続のための計画策定等の支援を行いました。

兵庫県中小企業活性化協議会等外部機関等との連携による経営改善・事業再生の支援

支援企業の経営改善の実効性を高めるため、必要に応じて兵庫県中小企業活性化協議会等外部機関と連携して支援を行っており、2023年度の兵庫県中小企業活性化協議会の利用先数は26先となりました。また、各顧問税理士やTKC等連携による経営改善計画書の策定支援や、兵庫県信用保証協会との連携による外部専門家派遣制度の活用など、外部機関等との連携により経営改善や事業再生の支援を行っております。

コンサルティング機能発揮のための人材育成

顧客企業のライフステージに応じた提案ができる人材の育成

経営改善支援などコンサルティング機能を発揮できる人材育成を目指す研修・勉強会等を継続的に実施しています。

2023年度は、昨年同様に通信講座等を活用する方法をメインとして「改善支援研修」や「資金繰研修」など、お客さまの本業支援に関連するコンサルティング能力の底上げに向けた研修等を10回実施し、延べ113名が参加しました。



◆姫路信用金庫Big Advanceについて

「姫路信用金庫Big Advance」とは、株式会社ココペリが開発した、全国の金融機関が連携し、地域の中小企業の成長を支援する金融機関連携プラットフォームです。

参加金融機関と取引のある地域企業が会員になることで、地域の枠を超えた会員同士のつながりが生まれ、販路拡大やビジネスマッチング、福利厚生、ホームページの作成・管理、土業相談、経営支援情報、社内チャット機能等を可能とします。



 **姫路信用金庫 Big Advance**

販路拡大や業務効率化など
経営課題をトータルサポート
するWEBサービスです



Big Advance登録
についてはこちら

<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/corporate/consulting/bigadvance.html>

取引先企業の経営改善や成長力の強化

当金庫がメインバンクとして取引を行っている企業3,362先のうち、経営指標等の改善が見られた先は1,598先となっており、47.5%が改善しています。

当金庫がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数(先数はグループベース)

(2024年3月末)		
メイン先数	メイン先の融資残高	経営指標等が改善した先数
3,362先	2,174億円	1,598先

※法人に限定(グループに含まれる個人事業主は含む)

経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移

2022/3末	2023/3末	2024/3末
1,063億円	1,070億円	1,058億円

メイン取引(融資残高1位)先数、及び、全取引先数に占める割合(先数単体ベース)

(2024年3月末)

メイン取引先数	割合
7,928先	77.7%

※個人事業主については融資取引がある場合、すべてメイン取引先として計上

取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

ライフステージ別の与信先数(先数単体ベース)、及び、融資額

(2024年3月末)

	全与信先					
		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	10,195先	639先	669先	3,781先	395先	453先
与信先に係る事業年度末の融資残高	3,389億円	125億円	358億円	2,047億円	123億円	297億円

※法人で財務データ登録の無い先または個人事業主は、先数・融資残高の合計のみ計上

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関するガイドラインへの取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

(2024年3月末)

新規に無保証で融資した件数	1,643件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	35.6%
保証契約を解除した件数	85件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件

2023年度の取組み

■金融仲介に関する取組み状況

担保・保証依存の融資姿勢からの転換

当金庫では地域活性化のため目利き力を発揮して、企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価し、様々なライフステージにある企業の課題解決に向けた取組みを行っています。



当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び全融資額に占める割合(先数単体ベース)

		(2024年3月末)
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額	30先	37億円
上記計数の全与信先数及び全融資額に占める割合	0.3%	1.1%

※2018年3月末からは、事業性評価シートを作成した先のみを集計

経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

(2024年3月末)

全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②／①
10,195先	5,455先	53.5%

■地域の活性化に関する取組み状況

中小企業支援ネットワークの設置

中小企業の経営支援のための政策パッケージの一環として、全都道府県に「中小企業支援ネットワーク」を設置し、参加機関が連携して中小企業・小規模事業者の経営改善・事業再生等の支援を行うこととされています。これを受け、兵庫県では信用保証協会が事務局となって、36機関が参画する「兵庫県地域支援金融会議」が2012年10月に設置されました。

当金庫は同会議に参画し、定期的な情報交流会や研修会へ参加し、経営改善・事業再生ノウハウの向上に努めるとともに、個別の中小企業・小規模事業者の支援の方向性を検討する枠組み(経営サポート会議)などを通じて、顧客企業へ改善等の支援を行ってまいります。

地域や利用者に対する積極的な情報発信

当金庫の地域密着型金融や地域貢献活動の取組みに関して、その内容や成果をホームページやSNS・ディスクロージャー誌等を通じて地域や利用者に対して情報発信を行っています。

各種媒体を通じて情報発信を続けることで、地域や利用者の方々により一層の理解を深めていただけるよう努めてまいります。



<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/aboutus/>

(当金庫HP)

<ひめしん>のあゆみ

明治		
42年	12月	産業組合法による姫路信用組合(組合長三宅正太郎)の設立許可
43年	2月	姫路市本町にて姫路信用組合として事業を開始
大正		
2年	4月	事業所を姫路市博労町94・95番地に移転
13年	2月	産業組合法の改正により市街地信用組合を設立し、事業を継承
昭和		
9年	8月	姫路市神屋町に倉庫竣工、神屋支部(倉庫部)とし商品担保融資を始める
11年	2月	本店を本町50番地の3に新築移転
14年	2月	庶民金庫代理業務を開始
18年	4月	市街地信用組合法に基づき組織変更
25年	4月	中小企業等協同組合法により信用協同組合に改組
26年	10月	信用金庫法施行により改組、同時に名称を姫路信用金庫に改める
30年	7月	姫路市公金受入事務を開始
37年	4月	三宅正太郎会長に、三宅具義理事長に就任
38年	1月	財団法人三宅正太郎育英会を設立 (平成23年12月より公益財団法人へ移行)
41年	1月	日本銀行歳入代理店事務の取扱開始
47年	11月	本店を十二所前町105番地に新築移転
48年	3月	オンライン稼働(普通預金)
50年	5月	CDキャッシュサービスの取扱開始
55年	5月	新総合オンライン・システムの開始
58年	4月	国債の窓口販売を開始
	10月	姫路市指定代理金融機関となる
61年	4月	事務センター新築
62年	10月	外国為替公認銀行として外国為替業務の開始
63年	7月	三宅具哉会長に、友定保雄理事長に就任
	12月	公共債ディーリング業務を開始
平成		
3年	12月	太子支店開設
4年	7月	加西支店開設
5年	10月	龍野支店川西出張所開設
6年	10月	三宅知行理事長に就任
7年	6月	信託代理店業務を開始
9年	9月	私募債受託業務を開始
	11月	大久保支店開設
10年	3月	信用金庫情報通信ネットワーク「Face To Faceネット」開始
	10月	ATMの業態間提携及びCDキャッシングでの平日稼働時間延長・祝日稼働の開始
11年	3月	郵貯ATMとの相互接続開始
	6月	インターネットによる資金移動(振込・振替)サービスの取扱開始
	7月	白国支店新築移転
	9月	モバイルバンキングサービスの取扱開始
12年	3月	デビットカードの取扱開始
	5月	投資信託窓口販売業務の取扱開始
13年	1月	春日野支店新築
	4月	保険窓口販売業務を開始
	5月	M&A仲介業務を開始
	10月	しんきんグッドサポート(債務返済支援保険)取扱開始
	12月	売掛債権担保融資制度の取扱開始
14年	3月	旧関西西宮信用金庫4店舗事業譲り受け
	5月	小野支店新築移転
	10月	六甲支店新築移転
	11月	生保年金取扱開始
	11月	葦合支店新築移転
15年	5月	加古川支店新築移転
	8月	ひめしんインターネットバンキング(個人)取扱開始
	12月	ひめしんインターネットバンキング(法人)取扱開始
16年	1月	マルチペイメントサービス取扱開始
	7月	駅南支店開設
	7月	駅前支店新築移転
17年	2月	兵庫県立大学と産学連携協定書締結
	3月	はりま産学交流会と産学連携協定書締結
	5月	「ひめしん研究開発支援助成金」取扱開始
	5月	「ひめしん・ものづくり支援融資」取扱開始 (現「ひめしん補助金サポート融資」)
	7月	「特定口座」「変額年金保険」取扱開始

平成		
18年	4月	「ひめしん技術支援融資」取扱開始 (現「ひめしん技術力・経営力評価融資」)
	5月	銀行系クレジット会社とのATM返済(入金)業務提携の取扱開始
	9月	生体認証ICキャッシュカードの取扱開始
19年	10月	AED(自動体外式除細動器)姫路市内20カ所に設置
19年	11月	加東支店開設
20年	2月	「ひめじ救命ステーション」にAED設置店舗登録
	5月	次世代育成支援対策推進における「次世代認定マーク」取得
	6月	イオン銀行とのATM相互利用開始
	10月	財団法人新産業創造研究機構(NIRO)と提携
	11月	財団法人ひょうご科学技術協会と提携
	11月	大津支店新築移転
21年	10月	中央市場支店中地出張所廃止
	10月	手柄支店新築移転(中央市場支店から名称変更)
	11月	土山支店開設
22年	2月	姫路信用金庫創立百周年
	7月	「コンプライアンス室」新設
23年	1月	船場支店廃止
25年	2月	電子記録債権サービス(でんさいネット)取扱開始
	3月	AED(自動体外式除細動器)全店設置
	7月	教育カードローン取扱開始
	9月	野里支店 同心町出張所廃止
	11月	兵庫支店廃止
26年	4月	ひめしん投信インターネットサービス取扱開始
	7月	明石支店新築移転
	10月	来店不要型ローン取扱開始
27年	1月	事業性損害保険の取扱開始
	10月	出資証券のペーパーレス化実施
28年	2月	Web完結ペーパーレス契約ローン取扱開始
	4月	学費口座振替手数料無料化実施
	7月	飾磨支店リニューアルオープン
	9月	姫路商工会議所と「地域活性化に向けた調査研究に関する連携協定」締結
	10月	シンボルイラスト変更
	12月	取引先従業員向け専用サイト(職域サイト)開設
	12月	「認知症の人に優しい事業所」登録
29年	1月	時間外ATM手数料一部無料化実施
	7月	「営業推進部」と「個人業務部」を統合し「営業推進部」に組織変更
30年	1月	スマホ口座開設サービス利用開始
	1月	龍野支店 川西出張所廃止
	1月	店外ATM「川西出張所」設置
	2月	東支店 双葉出張所廃止
	7月	「経理部」を「経営企画室経理グループ」へ組織変更
	7月	高砂支店リニューアルオープン
31年	1月	子育て応援預金商品・ローン商品取扱開始
	2月	インターネット支店開設
	4月	子育て応援住宅ローン取扱開始
令和元年(2019年)		
7月	1日	「営業推進部お客さまセンター」を「コンプライアンス室お客さまセンター」へ組織変更
10月	1日	フリーローン「ベストサポート」取扱開始
令和2年(2020年)		
2月	1日	姫路信用金庫創立百十周年
4月	1日	通帳レス口座全店取扱開始
9月	1日	一部店舗の営業時間変更(昼休み導入)開始
11月	1日	「総務部」と「人事部」を統合し「総務部」に組織変更
令和3年(2021年)		
10月	1日	「ひめしんSDGs宣言」の公表
令和4年(2022年)		
2月	11日	夢前支店廃止
4月	1日	満期自動解約型定期積金取扱開始
11月	2日	インターネットバンキング当金庫本支店宛手数料無料化実施
令和5年(2023年)		
2月	1日	白浜支店リニューアルオープン
10月	10日	葦合支店を春日野支店内へ移転

2023年度の取組み

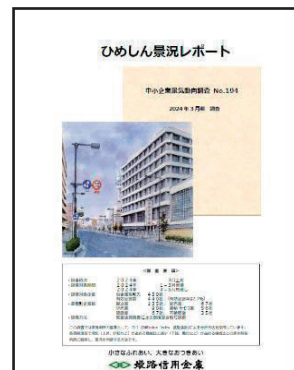


お取引先さまへの支援・地域貢献活動／文化・社会貢献活動、地域交流

<ひめしん>では地域経済の活性化に向けた取組みのほか、地域の文化・芸術活動等のサポートをはじめとする様々な活動を行っています。

情報誌「ひめしんSmile」「ひめしん景況レポート」

お取引先さまの紹介や暮らし・文化・レクリエーションなどの情報を掲載した「ひめしんSmile」は年2回発行しています。また、約450社の景気動向調査結果「ひめしん景況レポート」は年4回発信しています。どちらも当金庫のホームページからご覧いただけます。



子供の詩 有本芳水賞

姫路で生まれた詩人・有本芳水を顕彰し、未来を担う子どもたちに豊かな情操を育んでほしいとの思いから始まった「子供の詩 有本芳水賞」は、今回で35回目を迎えました。播磨一円の小学校から1万点を超える応募があり、その中から優秀な作品を表彰しました。

学生の就業体験の受入れ

信用金庫の役割や業務内容についての理解を深め、<ひめしん>の魅力を知っていただくことを目的として、7月～翌年1月に計9回の就業体験を実施しました。



「公益財団法人 三宅正太郎育英会」への支援

1963年、大学生に対する奨学金の支給を目的として「公益財団法人 三宅正太郎育英会」が設立されました。<ひめしん>では、設立時から財団の活動を支援し、人材の育成に貢献しています。



「ひめしんSDGs週間寄贈品目録贈呈式」の開催

2021年10月1日に「ひめしんSDGs宣言」を公表し、様々な取組みを行っています。未使用の食品やコンタクトレンズの空ケースを事前に持ち寄り、2023年7月に寄贈品目録贈呈式を開催しました。



「2023ひょうご信用創生アワード」にて最優秀事例に選出

兵庫県地域支援金融会議の参加機関15機関29事例のうち、当金庫の取組み事例が「2023ひょうご信用創生アワード」の最優秀事例に選出されました。

「第7期 ひめしん経営塾」の開講

当金庫とお取引のある若手経営者・後継者・経営幹部の方々を対象に、第7期目となる「ひめしん経営塾」を2023年9月に開講しました。定期的な勉強会を通じて、業種や事業内容などの垣根を越えた参加者同士の交流を図りました。



駅前支店での「浴衣営業」

例年、「姫路ゆかたまつり」の開催にあわせて、駅前支店では職員が浴衣姿で業務を行います。旧本町支店から約50年続く行事で、駅前支店では19年目となりました。風情ある浴衣姿は、華やかな夏の雰囲気を出し来店されたお客さまからも好評でした。



店舗一覧（2024年7月1日現在）

当金庫の地区

姫路市、相生市、たつの市、加古川市、高砂市、赤穂市、
明石市、西脇市、三木市、小野市、加西市、神戸市、芦屋市、
西宮市、三田市、宍粟市、朝来市、加東市、神崎郡、揖保郡、
加古郡、赤穂郡、佐用郡

姫路地区

■本店営業部 〒670-8652
■本店(本部) 〒670-8652
■東支店 〒670-0015
■駅前支店 〒670-0925
■野里支店 〒670-0001
■飾磨支店 〒672-8064
■手柄支店 〒670-0966
■広畑支店 〒671-1121
■西支店 〒670-0058
■北支店 〒670-0083
■青山支店 〒671-2222
■同 六角出張所 〒671-2242
■白国支店 〒670-0806
■大津支店 〒671-1146
■野田支店 〒672-8045
■御着支店 〒671-0232
■白浜支店 〒672-8023
■飾東支店 〒671-0218
■城北支店 〒670-0883
■網干支店 〒671-1234
■駅南支店 〒670-0955

姫路市十二所前町105 079-225-1225
姫路市十二所前町105 079-288-1121
姫路市総社本町3 079-224-2131
姫路市亀井町58 079-223-3951
姫路市河間町85 079-224-1515
姫路市飾磨区細江2534 079-235-1341
姫路市延末244-1 079-282-3133
姫路市広畑区東新町2丁目32 079-236-3211
姫路市車崎2丁目1-1(※) 079-294-1775
姫路市辻井6丁目3-17 079-293-9311
姫路市青山4丁目21-9 079-266-8881
姫路市六角449-7 079-266-3737
姫路市増位新町2丁目25 079-288-2251
姫路市大津区大津町3丁目3-2 079-237-2021
姫路市飾磨区中野田2丁目81 079-234-8866
姫路市御国野町御着739-1 079-253-6511
姫路市白浜町丙175-8 079-246-1850
姫路市飾東町庄135-17 079-253-7215
姫路市城北新町2丁目18-15 079-281-0741
姫路市網干区新在家2023-7 079-274-3622
姫路市安田4丁目150 079-286-6900

店外ATM一覧（2024年7月1日現在）

姫路地区

■キャスパビル出張所
■グランフェスタ出張所
■イオンモール姫路リバーシティー出張所
■コープ田寺出張所
■姫路赤十字病院出張所
■コープ砥堀出張所
■イオン姫路店出張所
■イオンモール姫路大津出張所
■マックスバリュ東山出張所

たつの・相生・赤穂地区

■川西出張所
■主婦の店赤穂店出張所

加古川・高砂地区

■マックスバリュ安田出張所

たつの・相生・赤穂地区

■龍野支店 〒679-4167
■太子支店 〒671-1523
■相生支店 〒678-0031
■赤穂支店 〒678-0232

たつの市龍野町富永1005-53 0791-63-1331
揖保郡太子町東南365-1 079-277-5731
相生市旭5丁目14-13 0791-22-2595
赤穂市中広55-11 0791-45-2231

加古川・高砂地区

■加古川支店 〒675-0066
■尾上支店 〒675-0023
■東加古川支店 〒675-0101
■高砂支店 〒676-0022
■宝殿支店 〒676-0805
■本荘支店 〒675-0154

加古川市加古川町寺家町651 079-424-2621
加古川市尾上町池田693-7 079-421-1231
加古川市平岡町新在家401-5 079-426-8811
高砂市高砂町浜田町2丁目3-10 079-442-4125
高砂市米田町米田251-1 079-432-5746
加古郡播磨町本荘2丁目4-1 079-435-6541

福崎・加西・小野・三木・加東地区

■福崎支店 〒679-2203
■加西支店 〒675-2303
■小野支店 〒675-1378
■三木支店 〒673-0403
■加東支店 〒673-1463

神崎郡福崎町南田原3132-1 0790-22-5116
加西市北条町古坂1丁目14 0790-43-0306
小野市王子町883-1 0794-63-3311
三木市末広3丁目14-18 0794-83-2780
加東市梶原358-1 0795-43-9211

明石・神戸地区

■明石支店 〒673-0012
■大久保支店 〒674-0058
■土山支店 〒674-0074
■神戸西支店 〒653-0015
■六甲支店 〒657-0028
■春日野支店 〒651-0068
■葺合支店 〒652-0032
■湊川支店 〒653-0875
■丸山支店 〒653-0882
■名倉支店 〒653-0882

明石市和坂14-1 078-928-7856
明石市大久保町駅前2丁目8-25 078-934-6765
明石市魚住町清水2179-1 078-943-0088
神戸市長田区菅原通5丁目59 078-576-5021
神戸市灘区森後町3丁目1-4 078-821-6161
神戸市中央区旗塚通1丁目6-20 078-241-8626
神戸市兵庫区荒田町2丁目15-5 078-531-5555
神戸市長田区丸山町3丁目1-41 078-643-1231
神戸市長田区長天神町2丁目14-13 078-642-3205

インターネット支店

URL:

<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/netbranch/>



0120-115-428

インターネット支店に
関してはこちら



しんきんゼロネットサービス

概要
全国の信用金庫が提携し、信用金庫のキャッシュカードであれば信用金庫のATMを無料でご利用いただけるサービスです。
ご利用は、このステッカーの貼ってあるATMで!!



しんきんゼロネット
サービス提供時間

平日 8:45～18:00 入出金
土曜日 9:00～14:00 出金

※上記以外の時間帯および日曜・祝休日のATM
利用には所定の手数料が必要です。

※本サービスをご利用いただけないしんきんATM
が一部ございます。

(※)西支店は店舗建替のため、2024年4月8日(月)より、北支店内(仮店舗)にて営業しております。

2021年10月1日、ひめしんSDGs宣言を公表しました。
2024年度についても引き続きSDGs達成に向けた取組みを続けていく方針です。

ひめしんSDGs 宣言 ～すべてを郷土繁栄とともに～

〈ひめしん〉は、「すべてを郷土繁栄とともに」の創業理念に通じる「SDGs」の理念に賛同し、相互扶助の精神に則った信用金庫業務を通して社会課題解決に取り組み、持続的な地域の発展に貢献してまいります。

1 協同組織としての特性を活かした持続的な地域経済の活性化

預金や融資等の金融サービス提供や、外部機関との連携を通して、お客さまに寄り添う「伴走型支援」を推進し、地域経済の活性化に貢献する



2 多様な地域人材の育成と豊かなまちづくり

未来を担う児童・学生への教育・文化振興や職員の動きが向上と能力開発を通して、地域で活躍する多様な人材を育成するとともに、地域振興による豊かなまちづくりを実現する



3 環境に配慮した業務の推進

金庫の事業活動を通じた環境負荷の低減に取り組むことによって、環境の保全に貢献する



■経営相談



あなたのビジネスの悩みを解決!



■公式Instagram



姫路信用金庫
公式 Instagram



@himeji_shinkin

■しんきん通帳アプリ



信用金庫 検索

App Store
からダウンロード

Google Play
でインストール



・「iPhone」「App store」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
・「Android」「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

■RECRUITING SITE



<当金庫のディスクロージャー誌(情報編2、資料編)の閲覧に係るご案内>

当金庫のディスクロージャー誌のうち、より詳細な情報については「情報編2」として、計数資料等については「資料編」として当金庫のホームページに掲載しております。閲覧を希望されるお客さまは、当金庫ホームページからご覧ください。

なお、インターネットの操作が分からないお客さま、またはインターネットに接続できる電子機器(パソコン、スマートフォン等)をお持ちでないお客さまへは、別途ご案内いたしますので、当金庫職員までご相談ください。

当金庫のウェブサイト(ディスクロージャー誌掲載ページ)
<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/aboutus/keiei.html>





〒670-8652 姫路市十二所前町105番地
TEL (079)288-1121(代)
<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/>